

## 第2部 パネルディスカッション

### 『行財政改革の推進に関する提言書について』

#### <行財政改革推進会議による提言の経緯について>

丸山会長：市では、平成10年9月に「新・四日市市行財政改革大綱」を策定。

その具体的な取組みである「第1次実施計画（平成10～12年度）」で、162項目の改革項目のうち、133項目、82.1%の目標を達成し、3ケ年で56億9千万円のコスト効果があった。

引き続き行財政改革を進めるため、平成13～15年度の期間で、新たな改革目標を定めた116項目の「第2次実施計画」について現在取組中。

9名の委員による「行財政改革推進会議」は、その推進方策やこれからの行財政改革のあり方について意見を述べるということで、四日市市から委嘱を受け昨年7月に設置された。

推進会議では、市民の生活に大きく関わり、市としても特に重点的に取り組むべきであるということで、「第1次実施計画」で未完了となったものの中で、「地区市民センターの見直し」、「希望の家・寿楽園の運営の見直し」、「幼稚園・保育園の見直し」、「財政の健全化と安定した財政基盤の確立」の4つのテーマについて、そのあるべき方向性や行政としての具体的な取組み手法などについて議論を重ねてきた。

今年3月「四日市市における行財政改革の推進に関する提言書」にまとめ、市長へ提出した。

今日は、委員から提言についての報告と市の取り組み状況について市長に回答をいただく。